



ファームウェアバージョン:	R2.04.B012	
ハードウェアバージョン:	DGS-1250-28X	A1
	DGS-1250-28XMP	A1
	DGS-1250-52X	A1
	DGS-1250-52XMP	A1
発行日:	2024/2/9	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
CLI (シリアルポート) を使用したアップグレード	2
Web GUI を使用したアップグレード	5
追加機能：	8
MIB および D-View モジュールの変更点：	8
コマンドラインインタフェースの変更点：	8
修正した問題点：	8
既知の問題：	9

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R2.04.B012	2024/2/9	DGS-1250-28X	A1
		DGS-1250-28XMP	A1
		DGS-1250-52X	A1
		DGS-1250-52XMP	A1

アップグレード手順：

アップグレードは、CLI(シリアルポート)もしくは Web GUI から実施することができます。

CLI (シリアルポート) を使用したアップグレード

1. スイッチの RS-232 シリアルポート (コンソールポート) と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート：115200
- データビット：8
- パリティ：none
- ストップビット：1
- フロー制御：none



2. ターミナルコンソール上でキーボード上のいずれかのキーを押します。
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、アカウント情報を入力し「Enter」を押します。初期値のアカウントおよびパスワードは「admin」です。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
copy tftp://location/filename flash: {Image1 Image2}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
boot image	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
end	現在のコンフィグモードを終了し、EXEC モードに戻ります。
reboot	スイッチをリブートします。
show version	スイッチのバージョンを表示します。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例)

(1) スイッチのユーザ名とパスワードを入力してログインします。

ユーザ名とパスワードの初期値は「admin」です。

(2) 現在のブートイメージを確認します。

※以降の例では、現在のブートイメージとは別のイメージIDに対しファームウェアの更新を行います。

Switch#**show boot**

Unit 1

Boot image: /c:/Image1

Boot config: /c:/Config1

(3) スイッチにファームウェアをダウンロードします。

Switch#**copy tftp: //10.90.90.100/DGS1250_A1_FW2_04_B012.had flash: Image2**

Address of remote host [10.90.90.100]?

Source filename [DGS1250_A1_FW2_04_B012.had]?

Accessing tftp://10.90.90.100/DGS1250_A1_FW2_04_B012.had...

Transmission start...

Transmission finished, file length 9204720 bytes.

Please wait, programming flash..... 100 %

Please wait, programming flash for language filesDone.

(4) ブートイメージを指定します。

Switch#

Switch#**configure terminal**

Switch(config)#**boot image Image2**

Switch(config)#**end**

Switch#**show boot**

Unit 1

Boot image: /c:/Image2

Boot config: /c:/Config1

(5) スイッチを再起動します。

Switch#**reboot**

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) **y**

Please wait, the switch is rebooting...

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

注意：

PoE 対応モデルの場合、R2.04.B012 へのアップグレード時に PoE コントローラのアップグレードも行われるため、5 分程度の時間を要します。

(6) バージョンがアップグレードされていることを確認します。

Switch#**show version**

System MAC Address: xx-xx-xx-xx-xx-xx

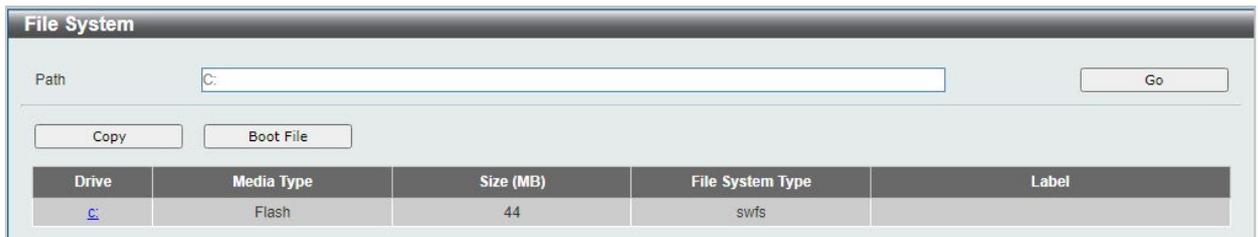
Module Name DGS-1250-52XMP

H/W A1

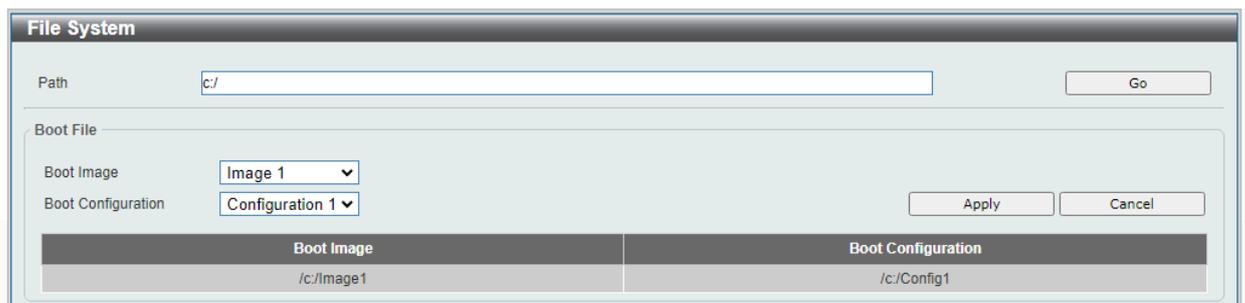
Runtime 2.04.B012

Web GUI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. TFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合は、PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ずご使用の PC に TFTP サーバのインストールを行っておいてください。)
3. お客様の PC とスイッチを R-45 ネットワークケーブルで接続します。
PC とスイッチの IP アドレスは同じサブネット内に設定してください。
(例：スイッチの IP アドレスが 10.90.90.90 の場合、PC は 10.90.90.100 など)
4. スwitchの IP アドレス (初期値 : 10.90.90.90) をブラウザのアドレスバーに入力し、Web GUI にアクセスします。
5. Web GUI にログインします。
「User Name」 (管理者のユーザ名) と 「Password」 (パスワード) の初期値は 「admin」 です。
6. **Management > File System** を選択し、「Boot File」 をクリックします。



7. 現在のブートイメージ (「Image1」 または 「Image2」) を確認します。

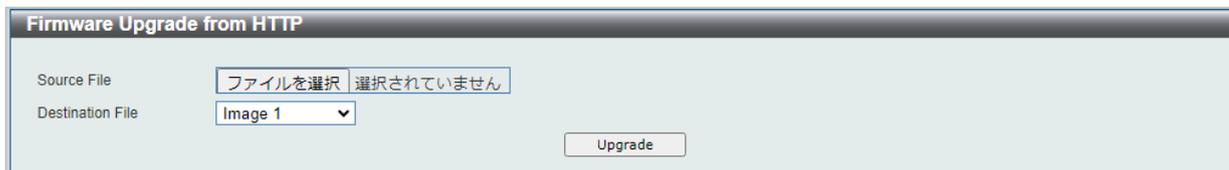


※この後のアップグレード作業で、現在のイメージ ID か別のイメージ ID を指定する必要があります。

8. ファームウェアアップグレードは、**Tools > Firmware Upgrade & Backup** から実行します。アップグレードの方法は「HTTP」「TFTP」から選択します。

HTTP 経由でアップグレードを行う場合

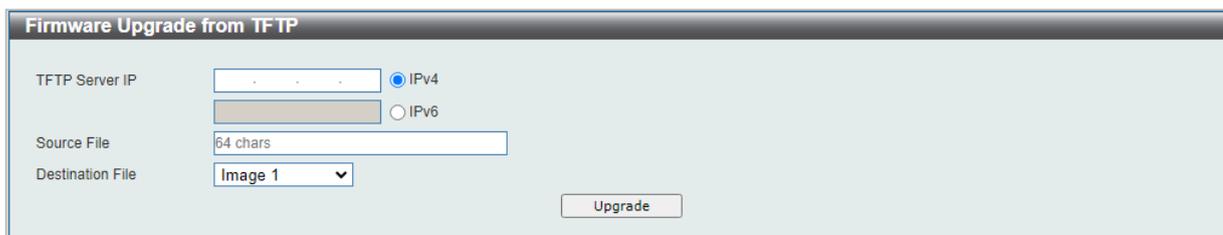
Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from HTTP を選択します。



- Source File : 「ファイルを選択」をクリックし、ファームウェアファイルを選択します
- Destination File : ファームウェアの保存先として、「Image 1」または「Image 2」を指定します。

TFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from TFTP を選択します。



- TFTP Server IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- Source File : TFTP サーバ上に保存したファームウェアファイル名を入力します
- Destination File : ファームウェアの保存先として、「Image 1」または「Image 2」を指定します。

9. 「Upgrade」をクリックします。
10. ステータス画面が表示されます。アップロード完了後に「Done.」と表示されるまで待機します。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

※TFTP によるアップグレードの場合はポップアップ画面が表示されますので、「Done.」メッセージ表示後に右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

11. 次のスイッチリブート時にブートアップを行うイメージが選択するために、**Management > File System** の順にクリックします。

※現在のブートイメージ ID をアップグレード先として指定した場合、ブートイメージの変更は不要です。手順 11～14 をスキップし、手順 15 のシステム再起動に進んでください。

Drive	Media Type	Size (MB)	File System Type	Label
C:	Flash	44	swfs	

12. 「Boot File」 をクリックします。
13. 「Boot Image」 で新しいイメージ ID を指定し、「Apply」 をクリックします。

Boot Image	Boot Configuration
/c:/Image1	/c:/Config1

14. ブートファイルの指定に成功すると「Success」メッセージが表示されます。画面の「OK」をクリックします。
15. **Tools > Reboot System** をクリックし、スイッチをリブートします。
16. 以下の画面で「Yes」を選択し「Reboot」をクリックします。
「Are you sure you want to reboot?」と表示されるので「OK」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。

Do you want to save the settings? Yes No

If you do not save the settings, all changes made in this session will be lost.

Reboot

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

注意：PoE 対応モデルの場合、R2.04.B012 アップグレード時に PoE コントローラのアップグレードも行われるため、5 分程度の時間を要します。

17. システムの再起動後にログインし、デバイス情報画面でファームウェアのバージョンがアップグレードされていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.04.B012	1. DGS-1250-28XMP/52XMP のハードウェアバージョン：A2 をサポート致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.04.B012	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.04.B012	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R2.04.B012	<ol style="list-style-type: none"> 1. SSL の有効化後にシステムが高負荷となる問題を修正致しました。 2. DHCP スヌーピング有効化時、リンクアグリゲーションのメンバポートにおいて DHCP パケットが適切に処理されない問題を修正致しました。 3. SFP+スロットで接続されている対向スイッチの再起動後、システムログが適切に出力されない問題を修正致しました。 4. HOL 処理に関する不具合により、管理インタフェースに接続できない場合がある問題を修正致しました。 5. SNMP を使用して'dddm if info current tx powerd bm'の値を取得する際、ポート番号を指定した場合に正しく取得できない問題を修正致しました。 6. VAPT スキャンを行うとシステムが再起動する問題を修正致しました。 7. システムログにおいてユーザ操作ログの接続IPアドレス情報が正しく出力されない場合がある問題を修正致しました。 8. ループバック検知において、ループがない場合でも、ループ検出のログが誤出力される場合がある問題を修正致しました。 9. Runt/Undersize/Xmit-Err カウンタの不具合を修正致しました。 10. 稀に PoE 給電が停止する場合がある問題を修正致しました。 11. リンク速度が 100M の場合、ケーブル診断においてケーブルの不具合が適切に検出されない問題を修正致しました。 12. Giants カウンタの不具合を修正致しました。 13. ストームコントロールにおいて、pps のしきい値設定が適切に動作しない問題を修正致しました。

	<p>14. VLAN インタフェースの詳細情報 (VLAN Interface Information 画面) にデータが表示されない場合がある問題を修正致しました。</p> <p>15. パスワード暗号化を有効化した場合、削除したデフォルトの admin アカウントがシステム再起動後に再度生成される問題を修正致しました。</p> <p>16. システム起動時に Mode ボタンを押下し続けた後、copy running-config startup-config の実行やコンフィグの流し込みを実行した場合に管理インタフェースに接続できなくなる問題を修正致しました。</p> <p>17. SNMP ホストに使用されている SNMP コミュニティが削除できてしまう問題を修正致しました。</p> <p>18. IP-MAC ポートバインディングの Loose モードが適切に動作しない場合がある問題を修正致しました。</p> <p>19. SSH でコマンド入力時にロックアップする場合がある問題を修正致しました。</p> <p>20. WebUI の日本語を修正致しました。</p> <p>21. PoE 使用量のしきい値を超過していないにもかかわらず警告ログが表示される問題を修正致しました。</p> <p>22. 64Bytes のタグ付きパケットを受信した場合、RX ポートの Undersize および Runt カウンタが増加する問題を修正致しました。</p> <p>23. 64Bytes のタグ付きパケットがタグポートで送信された場合、TX ポートの Xmit-err カウンタが増加する問題を修正致しました。</p> <p>24. ジャンボフレーム有効化時、ジャンボフレームが送信されると、TX ポートで Xmit-err カウンタが増加する問題を修正致しました。</p> <p>25. SNMP により AAA 認証の OID を設定後、CLI に接続できなくなる問題を修正致しました。</p>
--	---

既知の問題 :

ファームウェアバージョン	既知の問題
R2.04.B012	特になし

Copyright 2024 D-Link Japan K.K.